

会議の概要

会議の名称	令和5年度第2回あま市地域福祉計画推進委員会
開催日時	令和5年12月19日(火) 午後2時から
開催場所	あま市役所 2階 E会議室
議 題	1 委員長あいさつ 2 議題 (1) 第3次あま市地域福祉計画の計画書案について (2) パブリックコメントの実施について (3) その他 3 令和5年度第3回あま市地域福祉計画推進委員会 4 その他
会議資料	1 第3次あま市地域福祉計画(案) 2 第3次あま市地域福祉計画(案)及び第2次あま市成年後見制度利用促進基本計画(案)のパブリックコメントの実施要領案 3 あま市地域福祉計画推進委員名簿
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	なし
出席委員	下方 辰幸 渡邊 剛 鈴木 千鶴 静谷 貴代子 井村 なを子 谷川 輝純 加藤 美由紀 山本 正子 横井 三千代 中村 伸二 牧村 順一 立松 愛唯 後藤 幸元
欠席委員	服部 章平 小林 直也 溝口 正己 石田 洋子
事務局	社会福祉課 課 長 国立 強志 主 幹 寺西 省吾 課長補佐 寺尾 香名子 係 長 加藤 秀一 主 査 金森 弘高

議事内容

事務局	<p>定刻前ではございますが、本日ご出席の委員の皆様おそろいでございますので、ただいまから令和5年度第2回あま市地域福祉計画推進委員会を開催いたします。</p> <p>本日は大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただく社会福祉課 国立と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>本委員会は、あま市審議会等の会議の公開に関する要綱第3条に基づき、公開で開催いたします。なお、本日、傍聴人の方はございませんのでご報告申し上げます。</p> <p>本日は服部委員、小林委員、溝口委員、石田委員から都合によりご欠席の連絡を頂戴しております。</p> <p>本委員会には、事務局のほかに、社会福祉協議会の職員に加え、第3次地域福祉計画の策定をお手伝いいただいている株式会社サーベイリサーチセンターの方にも同席いただいておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、牧村委員長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
委員長	<p>皆様こんにちは。委員長の牧村でございます。</p> <p>本日は師走の大変お忙しい中、しかも、伊吹山に冠雪していよいよ冬本番、こういう状況の中で、あま市地域福祉計画推進委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>前回の委員会では、第3次地域福祉計画の素案をご提示申し上げ、第2次計画の成果のほか、第3次計画の基本理念、基本方針までお示したところであります。今回はさらに、基本目標や重点施策のほか、具体的な施策や事業をご提示するため、第3次計画の計画書案をご用意し、ご議論いただけるよう準備いたしました。</p> <p>つきましては、第3次計画がよりよいものになるよう、各委員のお立場から忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>また、本委員会の所要時間は約60分を予定しております。この後、3時頃から社会福祉協議会の地域福祉活動計画推進委員会もごございますので、会議の進行につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に進む前に、本日の会議資料を確認させていただきます。</p>
事務局	<p>資料確認</p>
事務局	<p>それでは、あま市地域福祉計画推進委員会要綱第6条第1項の規定によりまして、ここからの議事進行は牧村委員長をお願いいたします。よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>議題(1)「第3次あま市地域福祉計画の計画書案について」、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	資料1に沿って説明
委員長	ありがとうございました。事務局から第3次計画の計画書案について説明がございました。各委員からぜひご質問、ご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	33ページのSDGsとの整合について、1、3、4、5、10、11、16以外は関連性がないという理解でしょうか。17のパートナーシップも該当するのかなと個人的には思いますが、いかがでしょうか。
委員長	SDGsについて、事務局いかがでしょうか。
事務局	事務局といたしましては、34ページに記載いたしました、それぞれの基本方針に合致するロゴを挙げさせていただいております。これが本計画に関係するところであろうというものが事務局案でございます。 委員の皆様方から、この項目も該当するのではないかなどご意見がございましたら、ぜひ頂戴したいと思います。
委員長	ありがとうございました。これにとどまることなく、関連するということができれば、盛り込んでいくとのことでした。委員よろしいですか。
委員	はい。ぜひ17のパートナーシップに関しては、地域福祉は多様な主体が連携しないと成り立たないと思います。協働のまちづくりという意味合いからも、どんな団体にも一番関連する項目かなと思っております。あとは事務局にお任せしますので、17はできれば入れていただければと思います。
委員長	ありがとうございました。
事務局	ありがとうございます。それでは、また勉強させていただいて、該当するところをぜひ入れさせていただきたいと思います。よろしく申し上げます。
委員長	関連してでも結構です。そのほか、もし何かご意見ございましたら、お願いします。
委員	特になし
委員長	それでは先に進めていきたいと思います。もし、他にもご意見があれば事後でも結構ですし、この議論が進行中でも結構でございますので、ぜひご発言いただけたらと思います。 続きまして、議題(2)「パブリックコメントの実施について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2に沿って説明
委員長	ありがとうございました。ただいま、事務局からパブリックコメントの実施要領について説明を受けたところでございます。 この点について、何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。これは実務的な手続きということが非常に大事な案件ということで、委員会として承認を要するところです。
委員	特になし
委員長	ありがとうございました。 事務局はいただいたご意見あるいはこれから寄せられるであろうご意

	<p>見を踏まえて、地域福祉計画の策定に向けてお力を発揮いただきたいと思います。</p> <p>続きまして、議題(3)「その他」ですが、各委員から全体的なところでご意見などがございましたら、お願いします。</p>
委員	<p>35ページにある地域福祉推進の輪について、理想的だと思うんですが、現状と乖離ができてきているような気がします。</p> <p>豊橋に住んでいる友人に会った際、地域の担い手がいなくなってきて、あと10年後にはみんな壊滅するだろうって話をしていました。本当にこれを実現するためには、細かい努力を積み重ねが必要だと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>今のご質問について、事務局、いかがですか。</p>
事務局	<p>35ページの地域福祉推進の輪ですが、おっしゃるように、理想的な形としてお示しをしております、当然ながら現状と乖離があるというご指摘はご最もだと思っております。</p> <p>私どもといたしましては、このご審議いただいている地域福祉計画のそれぞれの施策を進めていく中で、少しでもこういった形が実現できるという方向を目指していきたいというものでございますので、ご理解を賜りますよう、よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。コメントを付け加えさせていただきます。</p> <p>委員がおっしゃったように、次の担い手あるいは現に担っている方々が高齢化するなど、どこも直面している課題です。</p> <p>昔からあった組織であるとか、個人であるとか、そういったものに頼ってこれを進めていくというのが、大体共通の認識としてあるように思います。もちろん、そうした昔からある組織を立て直すというのは、これはこれで大事な課題ですけれども、それだけではおそらく困難だろうと徐々に気がつき始めたというのが現状かと思えます。</p> <p>そこで、この地域福祉計画でも、新たなつながりを今こそ積極的に、真剣に取り組むことによって、結果的に新たな担い手を確保し、結果的には地域を支える、そういう人々を新たに生み出すという、こういう取り組みが非常に大事になってくると思えます。</p> <p>したがって、この計画をそのまま推進していく、計画に沿って地道に実践を重ねていくことで、今まで以上に大きな意味と価値をこれから持ち出すだろうと、そんな気がいたしております。</p> <p>さて、そのほか、何かご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>計画書案の7ページの第2次計画の進捗状況のところ、重点施策2の①地域活動への参加啓発について、『新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、地域活動が実施できない状況が続いていましたが、市民活動祭「あまのわ」は徐々に再開し、』と書かれていますが、これは実際再開したのは令和4年からです。</p> <p>この地域活動が実施できない状況が続いていたことを受けて、徐々に再開というところは、市民活動祭ではないような気がします。「市民活動団</p>

	<p>体の活動も徐々に再開され、再開した市民活動祭では多くの方が参加した」というような話の方がわかりやすいのかなと思いました。直るのであれば、直していただけるとありがたいです。</p> <p>それから、教えていただきたいのが、32ページにある基本方針の「地域コミュニティの再構築」ですが、地域コミュニティの再構築という表現を使っています。再構築の意味って、今あるものを壊して作り直す、あるいは新たに構築し直すという意味合いで使われているのでしょうか。もしそうであれば、現在、あま市内に14コミュニティあります。この計画の中でコミュニティという言葉がよく出てきますが、見る限り抽象的にまとまっているように感じます。</p> <p>実際、コミュニティっていろんな地域ごとに、活動の内容も違えば、抱えている悩みも違いますし、先ほどおっしゃられた担い手の増減ですね、開発されているところはどんどん新しい担い手が入ってきますし、高齢化している地域は非常に厳しいし、コミュニティは衰退していくような流れも現状としてあると思います。</p> <p>なので、この再構築という言葉が本当に新たに作り直すというか、新たな視点を持って、そういった次の担い手を育成しつつ、強固なコミュニティをつくっていくという考え方でこの計画があるのでしょうか。そこをお聞きしたかったです。</p> <p>もう1点、災害のところで、市民活動センターに愛知県から市民活動団体に向けてアンケートが来ました。それは何かというと、災害時にそういった市民活動で日頃ボランティア活動とか、市民活動をしている団体はどれくらい災害時に協力できるのかという意識調査です。</p> <p>あま市として、そういった市民活動の力を災害時にどれくらい頼ろうとしているのか、そこはちょっとこの計画の中では読み取れなかったもので、活動計画の中に入ってくるのか、そういうときこそ、市民活動、ボランティアの力って活用できるのではないかなということを感じました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。3点にわたってご意見をいただきましたが、事務局いかがでございましょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1点目の7ページのご指摘でございますが、確かにご指摘いただくとおりかと思っておりますので、文言の修正をさせていただきたいと思っております。</p> <p>2点目の41ページの「地域コミュニティの再構築」という点でございますが、事務局といたしましては、いわゆる地縁団体の重要性というのでも十分認識しつつ、市内でもなかなか組織として難しくなっているという地域があることも承知をしております。地縁団体に限らず、コミュニティ協議会やいわゆる区、大字単位だけではなく、つながりを持って活動されている団体にもご協力いただいて、共同体というものをいろんな面から見て、そのお力を少しでもお借りして、地域社会、地域の共同体というものをつくってまいりたいという意味ですね。物理的というよりも、視点ということで再構築していきたいという意図を持って、この文言を入れてございます。</p>

	<p>3点目の団体さんに災害に関してどの程度ご協力いただけるかのアンケートですね。国や県でそうした動きがあるということは承知をしております。具体的にこの計画の中に、それを現状どおり取り上げられてはいませんが、当然ながら、災害時に地域の方のお力をお借りしないと、災害対応、災害後のことも含めて、動いていかないと考えておりますので、具体的な記述はどうするのかというのは、ここではお答えできないですが、考えとしては、ご協力いただきながら進めていく姿勢を当然ながらあるということで、ご理解いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。委員よろしいですか。ありがとうございました。では、関連してでも結構でございますし、何かそのほかでも結構でございます。</p>
委員	<p>ちょっとテーマが地域の関係から外れるかもしれませんし、全く関係ないといえれば関係ないんですけども、地域コミュニティという、何かこれをつくり上げていこう、再構築しようとか、いろいろこれをしようということがありますけれども、大人だけの理解、参加だけでいいのかなと。</p> <p>むしろ保育園の段階からこの教育をしていかないと、大人の段階で育てよう、拡充しよう、改めようといっても、もともとそういう子だから、そこら辺のところ掘り下げていない、その考えがどこを見たらそういう表現が出ているか教えてほしいです。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。未来を担う子どもたちにこそ、こうした考え方を広げていくということが大事じゃないかというご指摘でございますけれども、事務局いかがですか。</p>
事務局	<p>委員おっしゃられるように、幼稚園、保育園の頃からの取り組みが重要ではないかというご指摘は、事務局としては考えが及んでいないところでございましたので、記述の方がないというのが現状でございます。</p> <p>学齢期という点でいきますと、56ページの事業一覧の2番目のところに学校と地域の連携推進というような形で記載はさせていただいております。繰り返しになりますが、幼稚園、保育園という点は視点が欠けており、申し訳ございません。</p>
委員	<p>やはり地域でもそういう人たちと一緒にあって地域を育て上げていくという、基本的な大事なところと一緒に責任持ってやっていくということ、教育と言うとおかしいけれども、生活そのものから出発しないといけませんが、そこら辺の表現をどこからすくったらいいいのかなと。</p> <p>むしろ、保育園に行ったときに、一緒になってお母さんやお父さん、お兄さんと一緒に来るわけ。その段階でもう既に、その子たちばかりではない。そのお父さん、お母さんたちもすでにコミュニティの一環なのだと。そういう方向性になるものはどのように表現したらいいのかなということをおっしゃるわけですね。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。地域社会に住むありとあらゆる全階層といえましょうか、全世代にという、こういう表現が仮にあるとするならば、そういう表現を入れるということになってくると思います。</p>

	<p>委員のご指摘というのは、そういう意味で、地域福祉そのものの中にそうした地域の将来を担う若い人たちというところを少し、むしろ重点を置いて考えていく、そういう考え方をどこかで表現すべきであろうと、こういうご意見を承りました。</p> <p>事務局からこれに関連してお願いします。</p>
事務局	<p>確かに、地域共生社会の実現ということで、世代を問わず、担い手になるという視点の記述というものは、委員のおっしゃるように、地域福祉計画でございますので、もう少し入れる方向で検討したいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。そのほか、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>いろいろな都合があつて、PTAが縮小傾向にある中で、PTAの会合に出ると、そういう学校や地域、PTAの結びつきが大変重要だといいますが、この間PTAの会議に参加したときに、いいことをやっているなと思ったのがありました。</p> <p>この中でいうと防災への取り組みになるとは思いますが、何をやってたかということ、中学校の体育館で学生さんの希望者を募って宿泊体験するそうです。</p> <p>体育館だから防災の避難所になったりするので、実際にそこに何十人か泊まって、その次の日、生徒たちが一晩泊まって、その泊まった後の状態を市の人とか、自治体の人とか、市長さんとかに見ていただくと、防災で泊まった後の状態がどんなふうになるかとか、何が足りないのかとか、子どもたちにはいい体験になりますし、いろんなことが結構具体的に分かるし、対策にもなるみたいなことを聞きました。</p> <p>これはPTAとも、その自治体とも、いろんなことで何かすごく役に立つ取り組みなのかなと思いました。そういう取り組みが何かできたらいいのかなと思って、せっかく出席したので発表させていただきました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。そうした意味で、地域での子どもたち、それから学校の先生たち、親、そして自治体関係者、こういったところの取り組みも参考になるということで、PTAが地域社会と連携してということの具体例というものを学びました。</p> <p>いまのご意見について、事務局いかがですか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。大変すばらしい取り組みをなさっている地域もあるということをお教えいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>具体的には、防災担当部局にも話をしまして、そういった取り組みをしている地域もあるので、ぜひ市でもそういったことができないかというようなことで検討してまいりたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。あと1つ、これだけは言っておきたいということがあれば、いかがですか。</p>
委員	<p>56ページの事業一覧の4に、「障がい者の地域生活支援の促進」とありまして、グループホームは徐々に増えてきて、大変うれしいことではありますが、民間の株式会社とかがどんどん参入して、増えたものの、いろ</p>

	<p>んな弊害が新聞などで言われている現状です。</p> <p>市がどこまでそれを監視できるかというのは、ちょっと難しいところではあるとは思いますが、近隣で1つあったグループホームに20人入ったところが閉所されたということを聞いています。</p> <p>本当に、本人さんたちにとっては、貴重な生活の場であり、親にとっては信頼して預けた場所でもありますから、増えればいいというものではなくて、質の担保・確保を市がどこまでできるか、私もわからないし、それは無理なことかも知れませんが、やっぱりこれだけ社会問題が出てきている以上、そこら辺も考慮していただけたらと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局、今のご意見に対していかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘のグループホーム運営の民間事業者の不適切な対応について、愛知県が発信源だったように記憶していますが、東京に本社があるということで、全国的に展開していることもあって、厚労省も非常に重大な事案として取り扱っているという報道の記憶がございます。近隣でも事業所を運営されていたところが閉所もしくは開所されなかったというようなことも聞いております。</p> <p>具体的な細かい取り組みにつきましては、私からご説明できるものではないですが、グループホームの質の担保ということで、以前から支援協議会でもグループホームの運営の内容の確認ということも、全国で実施するというようになっており、あま市でも実施していると承知しております。</p> <p>なかなかそれだけでは不良事業者の排除というところまで至らないのかもしれませんが、そういった国、都道府県、市町村が一体となって対応していくということで、徐々に改善していくのではないかと考えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>大変貴重なご意見、あるいは活発なご意見をいただきましてありがとうございました。事務局は今日いただいたご意見を参考に、この計画をより良いものにしていただきたいということをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、以上をもちまして、本日の議題はすべて終了いたしました。委員の皆様、議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日、皆様からいただきました多様なご意見を基に、第3次計画の策定に努めてまいりたいと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>続きまして、次第3「令和5年度第3回あま市地域福祉計画推進委員会」につきまして、担当よりご案内させていただきます。</p>
事務局	<p>第3回委員会につきましては、令和6年2月22日（木）午後2時から、こちらのお部屋で開催させていただきますので、皆様、ご予約のほどよろしくお願いたします。</p>

事務局	<p>皆さん、大変お忙しい中と思いますが、ぜひ第3回の推進委員会にもご出席のほど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、続きまして、次第4「その他」でございます。全体でご意見などがございましたらお願いを申し上げます。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日は大変お忙しい中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。これもちまして、令和5年度第2回地域福祉計画推進委員会を終了させていただきます。誠にありがとうございました。</p>
-----	---